

(別紙)

提出書類の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 温室効果ガス排出抑制計画書 <input type="checkbox"/> 温室効果ガス排出抑制計画書 (変更)				
住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目5番地1 イオンタワービル7階				
氏名 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	イオンモール株式会社 代表取締役社長 吉田 昭夫				
主たる業種	69 不動産管理業				
事業概要	大規模地域開発及びショッピングモール開発運営 不動産売買・賃貸・仲介				
事業者の区分	<input checked="" type="checkbox"/> みやぎ県民の住みよい環境の保全等に関する条例施行規則第9条第1号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 同規則第9条第2号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 同規則第9条第3号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 同規則第9条第4号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 特定事業者以外の者				
計画期間	30年度～		34年度		
排出状況及び目標	目標設定の方法	基準年度の実績① (29)年度	前年度の実績 ()年度	目標年度② (34)年度	増減率 (②-①)/①×100
	総排出量	4,898 t-CO ₂	t-CO ₂	4,653 t-CO ₂	-5.0 %
	原単位の排出量	0.006t-CO ₂	t-CO ₂	0.0057 t-CO ₂	-5.0 %
原単位の考え方	エネルギー使用量と密接な関係を持つ値を「売場面積×営業時間(千㎡×h)」としている。				
目標達成のための基本方針	資源エネルギーを有効に活用し、サービスの質を高めながらも、環境への影響を最小にするモールづくりを通じて、持続可能な社会の実現をめざす。				
目標達成のための推進体制	社長を議長とするCSR会議を毎月開催。また環境保全、社会貢献を管理する独自システム (SRシステム) を構築し、実施計画管理を実施。				
目標達成のための措置の内容	◎高効率設備等導入による CO2 削減 ◎デマンド監視、空調自動制御等、運用による CO2 削減 ◎EV 充電器の普及				
特記事項					

- 備考 1 「基準年度」は、原則として計画書を提出する年度の前年度とすること。ただし、提出者が別に基準となる年度を定めている場合は、当該年度を基準年度とすることができる。
- 2 提出者の計画が温室効果ガス排出量削減に向けた取組であるにもかかわらず、事業拡大等の理由により温室効果ガス排出量が増加する見込みである場合は、原単位による目標を設定することができる。この場合、「原単位の排出量」とは、「総排出量」を当該年度の生産数量、建物延床面積その他の温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値で除して算出した値とし、併せて「原単位の考え方」についても記入すること。